

Aサインデイズ

男が女を愛するとき

ロックでなら

夢だつて

アメリカだつて

女だつて

つかみとれると

思った...



崔 洋一監督作品

脚本／藤野博・崔洋一
■原案／利根川裕「喜屋武マリーの青春」(筑摩書房刊)より

中尾 ミエ	大地 康雄	亀 淵 友香	余 貴 美子	川 平 慈英	清 水 昭博	浦 田 賢一	SHY.	広 田 玲央名	石 橋 凌	中 川 安奈
----------	----------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	------	---------------	-------------	--------------



製作・配給/大映株式会社
■製作協力/大映映像株

●製作／山本洋・佐藤正大 ●製作補／島田開 ●プロデューサー／土川勲 ●企画協力／東泉あきら・喜屋武幸雄 ●撮影／浜田毅 ●照明／矢部一男 ●美術／今村力 ●録音／堀井正次 ●整音／小野寺修 ●編集／雷田功 ●助監督／竹安正朝 ●製作担当／小橋孝裕 ●技闘／高瀬将朝 ●音楽プロデューサー／石川光 ●プロデューサー補／天野ゆに子 ●主題歌／喜屋武マリー「愛は限りなく」(徳間シャバン) ●協力／Fender・Greco

Aサインデイズ



解説

本土復帰6年前の沖縄、映画の主演であるロック・バンド「バスターズ」のメンバー達は、すさまじった米兵たち相手の演奏で週給でサラリーマンの10倍以上の収入を得て、派手なアメ車を乗りまわし、好き放題に酒・女・ドラッグに金を使っていた。

嘉手納基地の町、コザはどこか紳士的な那覇とは違って無秩序なパワーと殺気がみなぎっていた。ベトナムの戦場行きの恐怖におびえる米兵たちのなぐさめだったセックス、ドラッグ、ロックンロールが軒を連ねるAサインパーにあふれ、毎夜血と涙が流された。

当時の知られざる背景の中で、若い男、女がその青春を爆発させながら互いに愛しあい、憎しみあい、力強く生きぬいた日々が蘇る。

ストーリー

1968年、沖縄。ベトナムに向けて米軍機が飛び立っていく。コザ市のレストラン「KING」の客は、私服のアメリカ軍下士官、将校ばかり。

定時制高校に通う16歳のエリ（中川安奈）は昼間、この店で働いている。自分がハーフと意識せずに、身についた英語を話せる気楽さがあった。

一方、リーダーのサチオ（石橋）がひきいる「Aサインパー」の人気ロックバンド「バスターズ」は、今夜もクラブ「NEW STAR」でドラマーのミッキー（浦田）のカウントで荒々しくスタートした。

「DO YOU WANNA DANCE」を軽快なノリで飛ばしていくサチオ、竜ちゃん（SHY）、きよし（清水昭博）らメンバー。

客席はベトナム帰りの米兵達でいっぱい。酒をねだるホステス、走り回るボーイ。飛び交うドル札。耳をつんざくロックのリズム、わめき声、マリファナの煙…。喧騒と妙な殺気が交錯する店に、おそろおそろ顔を出したエリは、いつしかエネルギー溢るサチオにひかれ、また歌への情熱にかりたてられていった。これが「男」と「女」の運命的な出会い

であった。

一年後、結婚した二人には男の子が生まれていた。子育てに追われる毎日の中でエリの母、たか子（中尾ミエ）が、家にやってきた。「朝鮮戦争で死んだ父の国アメリカへ行こう」と言い出すたか子に、エリは「しつこいよ、たか子さん」とことわる。もうしょうがないとたか子は再婚したりチャードとアメリカへ渡って行った。

一方、サチオは「ロッカーがマイホームやれるか」と、金も家には入れなくなっていた。エリはたまらなくなって、「食べるものないから、キャベツ盗んできた」と叫ぶ。キャベツを投げ合う派手なケンカが始まった。ついには子供と一緒に死ぬと包丁を持ち出して来たエリを見て、我に返ったサチオ。抱き止められたエリは、つぶやくように「私、歌いたい」……。

「バスターズ」のステージにまずGOGOガールとしてデビューしたエリは、マスターの与那覇（大地康雄）にほめられて気持ちいい。竜ちゃん以外のメンバーたちも乗ってきた。「歌のレッスンをしよう」。練習曲は「Susie Q」。サチオやメンバーにシゴかれ、のどをつぶし、血を吐きながらも懸命に歌い続けるエリ……。

CAST

エリ	中川安奈
サチオ	石橋凌
ひろみ	広田玲央名
竜ちゃん	S H Y
ミッキー	田賢一
きよし	清水昭博
サブ	川平慈英
ヨーコ	余貴美子
「KING」のママさん	亀渕友香
与那覇	大地康雄
たか子	中尾ミエ

Aサイン

本土復帰前までの沖縄では、沖縄市（旧コザ市）、那覇市波の上、金武、辺野古などの外人相手のバー、ライブハウスなどのあらゆる飲食店の入口に赤や青の「A」というマークが掲げてあった。いわゆる米軍人、軍属を相手に風俗営業を営むことが許されているという「APPROVED」(許可済)という頭文字のAである。

この制度は1952年頃から米軍によって始められたもので、当時はこのサインがなければ生活が成り立たない程重要なものだった。しかし、サインを得た店には衛生、施設の面で整備が厳しく義務づけられ、一つでもその条件を満たすことが出来ない場合には営業停止処分になってしまった。

当時、沖縄全島では3000軒余のAサイン営業店舗があったが、この制度に不満を持つ米兵達の中にはAサインを「ADULTERY」(姦淫)というスラング的な意味で皮肉る者もいたという。'71年のドルショック以来、このAサインの客足も急速に落ちていった。



●製作・配給/大映株式会社
●製作協力/大映映像株式会社

5月中旬旬ロードショー!

シネマスクエア

とうきゅう
新宿ミラノ座横3F (232) 9274

特別鑑賞券¥1200発売中(当日¥1600均一の処)

全自由席定員制 ● 入替制

日 9:40 連日 12:00 2:20 4:40 7:00

※高席および上映中の入場はできません

●毎金・土曜はレイトショー実施 PM9:20

